

審査結果通知書

令和7年12月16日

研究責任者  
野口 欣 照 殿

有明工業高等専門学校長  
八 木 雅 夫



研究テーマ名：有明工業高等専門学校の体力的特徴 2025

上記研究テーマの倫理審査申請書を令和7年12月4日から令和7年12月11日開催の有明工業高等専門学校研究倫理審査委員会で審査し、下記のとおり判定しましたので通知します。

記

判 定	(2) 条件付き承認
条件又は変更勧告の内容及び理由等	(条件) 被験者へ同意をとってください。 なお、保護者等からの同意について省略するにあたり、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日文部科学省・厚生労働省・経済産業省）第9 1代諾の要件（1）イ（ア）但書における条件を満たす必要があるため、申請書を公開すること。

## 別紙第1号様式

## ヒト及び動物を対象とする研究に関する倫理審査申請書

2025 年 12 月 4 日

有明工業高等専門学校長 殿

申請者（研究責任者）野口 欣照

所属・職名 有明工業高等専門学校（一般教育科保健体育）・准教授

氏名 野口 欣照



有明工業高等専門学校研究倫理審査規程第3条による審査を申請します。

1. 研究テーマ名	有明工業高等専門学校生の体力的特徴2025		
2. 研究者	(1) 研究責任者 所属：有明工業高等専門学校（一般教育科） 氏名：野口 欣照 職名：准教授		
3. 他機関共同研究者等	(1) 所属：熊本高等専門学校 職名：准教授 氏名：岩田 大助 (2) 他機関生命倫理審査委員会等の承認 (有・ <u>無</u> ) (3) 他機関生命倫理審査委員会等の承認証明書又は議事録 (有・ <u>無</u> )		
4. 審査の種類	<u>新規</u> ・ 継続		
5. 研究の概要	(1) 目的 有明工業高等専門学校生の体力的特徴を明らかにし、近隣の高専と特徴を比較する。 (2) 実験対象及び被験者数 第1学年209名、第2学年205名、第3学年214名 (3) 実験方法（安全性に対する配慮と動物の取り扱いも含む） 2025年4～5月に実施した新体力テスト（握力・上体起こし・反復横跳び・立ち幅跳び・ハンドボール投げ・持久走（男子1500m、女子1000m）・50m走・長座体前屈の8種目）と2025年度身体計測（身長・体重・学年・性別）による特徴分析 (4) 実施場所及び実施期間 実施場所：有明工業高等専門学校グラウンド、さんさくアリーナ、第2体育館 実施期間：倫理委員会承認後 ～ 2026年3月31日		
6. 倫理的配慮（ヒトを対象とする研究の場合）	※研究内容の説明書と被験者同意書があれば簡素化できる (1) 被験者の安全性の確保について ・個人を特定できない形で、学年・性別毎の集団としてデータを利用することにより、安全性を確保する。 (2) 被験者の人権（プライバシーに関する権利を含む）の尊重について ・体力測定 of データと身体特徴のデータは人権に配慮し、個人とデータが結びつかないようにしている。保健室から身体特徴（身長・体重）データを提供して貰う際に学年・男女以外の個人を識別する情報（個人名・出席番号・学籍番号等）は削除し、ランダムに並び替えたものをデータとして提供して頂く予定である。 (3) 被験者に対する研究の目的及び方法並びに当該研究がもたらす危険又は不利益について ・本研究の目的及び方法は、既に授業や健康診断にて収集されている身体特徴及び新体力テストのデータを利用し、本校学生の体力的特徴を分析するものである。 本研究では、個人を特定できない形で、学年・性別毎の集団としてデータを利用するため、情報提供者に対する危険又は不利益が及ぶ可能性は極めて小さい。また、個別のデータを公表することはない。 (4) 被験者の同意、及び当該同意を自由に撤回できる保証について ・既に健康診断及び授業内新体力テストによって収集したデータを利用するため、分析前に対象者に対してデータの利用をする旨通知し、オプトアウトの機会を提供する。 (5) 研究の学問的又は社会的な貢献よりも、被験者に生じる不利益に対する配慮の優先について ・被験者に生じる不利益がないことを最優先に研究を実施する。また、情報の提供に同意しない場合も成績等に不利益が生じないことを明らかにしたうえで同意を得る。 (6) 不利益が生じたと被験者が判断したとき、委員会に対する申立の保証について ・被験者に対して不利益が生じたと被験者が判断したとき、倫理委員会に対して申立ができる権利を有していることを通知する。		

<p>(7)被験者が未成年の場合、成年者でも十分な判断能力の無い場合、又は病名に対する配慮が必要な場合等における対処方法について</p> <p>A：未成年者、B：成年者でも十分な判断能力の無い場合、C：成年者でも意識の無い場合、D：病名に対する配慮が必要な場合、E：その他</p> <p>具体的な対処方法：( 上記の被験者に対して実施する場合は、問題がないように配慮する  <small>説明文書には平易な表現を用い本人が十分に理解できるよう配慮する</small> )</p> <p>(8)医学専門家（医師）の意見（意見書の添付）※委員会が必要と認める場合</p>
<p>7. その他 特記事項</p> <p>※資金提供、スポンサー、研究関連組織との関わり、その他起こり得る利害の衝突及び被験者に対する報奨等がある場合は記載する。</p>

<情報の取扱いに関するチェックリスト>

- ☒ 研究内容について説明し、被験者からの同意を得ること。無記名アンケート等の場合は、回答しない自由がある旨をアンケート用紙に明記すること。
- ☒ 本研究で収集した紙やデータは適切に保管し、個人情報を含むデータは本人に無断で第三者に開示・提供しないこと。
- ☒ 有明工業高等専門学校法人文書管理規程における保存期間を超えたものは、適切に廃棄等を行うこと。

有明工業高等専門学校法人文書管理規程 別表（法人文書保存期間基準）から抜粋

事項		業務の区分	当該業務に係る法人文書の類型	保存期間	具体例
十二	研究	教職員の研究活動に関する経緯	ア 機構外の者との共同研究等に関する文書	当該研究の終了後5年	・共同研究申請書 ・共同研究契約書 ・共同研究報告書
			イ 科学研究費助成事業公募による外部資金に係る研究活動に関する文書		・科研費申請書
			ウ 教職員の研究活動に関する調査統計等のための決裁文書	5年	・実施要項 ・調査票・依頼文書 ・回答文書
		地域等との連携による教育研究活動の実施	ア 会議等における当該事項の検討に関する文書	10年	・開催経緯 ・議事録 ・配付資料
			イ 実施計画及び実施記録に関する文書		・実施計画 ・実施記録
		研究安全管理者に関する文書	ア 放射性同位元素等管理に関する文書	10年	
			イ 核燃料・国際規制物質管理に関する文書		
			ウ 毒劇物等の取扱いに関する文書		
			エ 動物実験に関する文書		
			オ その他安全管理に関する文書		
		その他研究に関する文書	ア 1年以上保存する必要がある文書		